

総合問題 例③

テーマ：世界平和と核保有の意味 - 「抑止」と「信頼」の間で

リード文（約 1000 字）

「世界平和」とは、戦争が起きていない状態だけでなく、人々が安心して暮らせる制度や信頼がある状態を a フクむ。研究者は前者を負の平和、後者を正の平和と呼び分けることがある。二十世紀以降、核兵器は b 極めて 大きな破壊力を持つがゆえに、多くの国際政治の議論の中心にあった。核兵器をめぐる考え方には大きく二つの考えがある。一つは、核を持つことで相手の攻撃を思いとどまらせる ①抑止 の考え方である。もう一つは、核兵器の使用や事故の危険、人道的影響を考え、核兵器を減らし、最終的に無くしていこうとする軍縮・廃絶の考え方である。

抑止は、相手が攻撃すれば自分も大きな反撃をする能力を示し、戦争を起こさせないことをねらう。しかし、誤認や誤作動、緊張の高まりによる事故の危険がゼロになるわけではない。また、核の保有国と非保有国の間には安全保障の考え方の違いや不信が生まれやすい。そこで、国際社会は拡散を防ぐ枠組みや、平和利用を支える監視・検証の仕組みを整えてきた。原子力の平和利用と保障措置を支える国際機関があり、条約は「核が広がらないようにすること」「核軍縮の努力を進めること」「平和利用の協力」を柱としている。

とはいえ、条約や会議だけで自動的に信頼が生まれるわけではない。②透明性のある説明、現地調査や査察、データの c ソウゴ提供、d キキ のときでも連絡を取り続ける対話の回路が大切だ。③学校でできることもある。異なる立場の意見を読み比べ、根拠を示して自分の意見をまとめ、相手の不安や背景を理解しようとする訓練は、(A)の平和への一歩になる。

核保有の意味を考えることは、単に賛成か反対かを決めることではない。抑止の論理がどのように働き、どんな限界があるのか。軍縮や不拡散のしくみが、どのように信頼をつくり、どんな課題を抱えているのか。こうした問いにデータや歴史、科学の知識を合わせて考える姿勢こそが、平和に近づく道である。

小問（13 問）

国語（問 1 ～問 5）

問 1（漢字）

下線部 a ～ d の漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

問 2（語句）

本文中の語の意味として最も近いものを一つ選び記号でこたえなさい。

①「抑止」…ア 攻撃を思いとどまらせること

イ 攻撃をできるだけ急がせること

ウ 武器の数を正確に数えること

エ 争いを詳細に記録すること

②「透明性」…ア 都合の悪い物事や事実などを故意に隠すこと

イ 説明や根拠を公開して分かるようにすること

ウ 効果がすぐに現れる性質やその度合いのこと

エ 権利や財産などを他人に譲り渡す行為のこと

問 3（内容・本文抜き出し 50 字）

下線部③「学校でできること」とはどういうことか。本文中から 50 字以内で抜き出し、その最初と最後の 5 字を答えなさい。

問 4（内容理解・選択）

（A）には「負」と「正」のどちらが入るか答えなさい。

問 5（内容理解・選択）

本文の主旨として最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 核兵器があれば相手の国も攻撃することを思いとどまるので、完全な平和が実現する。

イ 原子力の平和利用と保障措置を支える国際機関の条約があれば、自動的に信頼が生まれる。

ウ 抑止と軍縮の論理と限界を理解し、データや歴史・科学を合わせて考える姿勢が重要である。

エ 学校では、「核軍縮の努力を進めること」や「平和利用の協力」について学ぶ必要はない。

英語

次の英文を読み、設問に答えよ（約 120 語）。

In our peace studies, we read two views on nuclear weapons. One says that nuclear weapons deter war by making attack too costly. The other says that the risk of accidents and the human impact are too great, so we should reduce and finally abolish them. Both sides agree on one thing: trust does not grow by itself. It grows when countries keep talking, share data, and allow inspections. Our task is to compare reasons from each side and explain our own idea clearly and politely.

問6（主旨）最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

- ア 核兵器は必ず戦争をなくす。
- イ 意見は一つだけが正しい。
- ウ 対話・データ共有・査察が信頼を育てるので、根拠を比べ自分の考えを説明することが大切だ。
- エ 平和学習は無意味である。

問7（語彙）文中の inspections に最も近い意味を選び記号で答えなさい。

- ア celebrations イ investigations/checks ウ predictions エ decorations

理科

問8（気象・防災）

安心して暮らせる環境づくりとして災害についての知識は非常に大切である。災害をもたらしやすい気象現象について次の各問いに答えなさい。

冬に大雪が降りやすいのは（ A ）地域である。これは、（ B ）気団から吹く低温で乾燥した風が日本海の水蒸気を吸収した状態で日本列島に吹き付けて上昇気流が起きるためである。

①（ A ）に当てはまる言葉を次のア～エから1つ選び記号で答えなさい。

- ア、瀬戸内海 イ、日本海側 ウ、太平洋側 エ、関東

②（ B ）に当てはまる言葉を次のア～エから1つ選び記号で答えなさい。

- ア、シベリア イ、オホーツク海 ウ、揚子江 エ、小笠原

問 9 (気象・防災)

梅雨は長期間雨が降り続きやすい時期であり、降雨による水害が起こりやすい。

①雨が降り続く原因となる梅雨前線は、次の前線のどれに属するか。1つ選び記号で答えな

ア、温暖前線 イ、寒冷前線 ウ、停滞前線 エ、閉そく前線

②次の梅雨前線に関する4つの文のうち、正しいものを2つ選び記号で答えなさい。

ア、2つの気団に挟まれて起こり、南から北へ移動する

イ、2つの気団に挟まれて起こり、北から南へ移動する

ウ、暖かい空気が冷たい空気の上に上がるときの上昇気流で雲ができる

エ、冷たい空気が暖かい空気の上に上がるときの上昇気流で雲ができる

社会 (歴史・公民)

問 10 【歴史 条約】

日本に関する条約とその内容について述べた X、Y の正誤の組み合わせとして正しいものを選び、記号で答えよ。

(条約)

(内容)

X サンフランシスコ平和条約 — アメリカの統治下にあった日本は、この条約によって沖縄や小笠原諸島を含む、すべての領土の独立を回復した

Y 日米安全保障条約 — 日本と東アジアの平和を守るという理由から、占領後もアメリカ軍基地が日本国内に残された

A X-正 Y-正

B X-正 Y-誤

C X-誤 Y-正

D X-誤 Y-誤

問 11（歴史：核兵器）

冷戦期には核兵器の保有により世界のバランスが保たれた。核兵器に関する以下の文章のうち、誤っているものを選び、記号で答えよ。

- A 日本は「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則を国の方針とした。
- B アメリカの水素爆弾の実験で、日本の第五福竜丸が被ばくした。
- C メキシコでのミサイル基地建設をめぐり、米ソ間では核戦争が起こる寸前であった。
- D 冷戦中のアジアでは、アメリカとソ連の支援を受けて朝鮮やベトナムで戦争が発生した。

数学

問 12（割合・総合）

ある学校の平和学習アンケート。各学年の「核軍縮を支持する」割合は、1 年生 50%（80 人）、2 年生 60%（70 人）、3 年生 70%（90 人）であった。

- （1）三学年の支持者の合計人数を求めなさい。
- （2）学校全体（240 人）に対する支持率（%）を小数第 1 位まで求めなさい。

問 13（確率）

ある国際会議に 12 か国が参加し、そのうち非核保有国が 7 か国、核保有国が 5 か国である。

- （1）無作為に 1 か国を選ぶとき、それが非核保有国である確率を求めなさい。
- （2）無作為に 2 か国を選ぶとき、2 か国とも非核保有国である確率を求めなさい。

解答

問1 a 含(む) b きわ(め) c 相互 d 危機

問2 ①ア ②イ

問3 最初：異なる立場 最後：とする訓練

問4 正

問5 ウ

問6 C

問7 イ

問8 A: イ B: ア

問9 ①ウ ②ア、ウ

問10 C

問11 C

問12 (1) 145 人 (2) 60.4%

問13 (1) 7/12 (2) 7/22

■ 各小問の解説（根拠・考え方）

問 1 漢字：解説は省略

問 2 解説

①「抑止」＝ア 攻撃を思いとどまらせること。

②「透明性」＝イ 説明や根拠を公開して分かるようにすること。

問 3 解説

直後に書かれていることが「学校でできること」の内容になっている。

問 4 「負」の平和＝戦争が起きていない状態、「正」の平和＝戦争が起きていない状態かつ人々が安心して暮らせる制度や信頼がある状態である、という本文の内容を踏まえて考える。

問 5 「負」の平和と「正」の平和。核兵器をめぐる二つの考え方を踏まえ、どうすれば「平和」に近づけるのかを考える。ウが一致。ア・イ・エは本文と矛盾。

問 9 X について、日本は独立を回復したが、沖縄や小笠原諸島は、その後もアメリカの統治に置かれた。

問 10 メキシコではなく、キューバ（キューバ危機）。米ソ間の緊張が極度に高まったが、核戦争が起こる寸前で解決された。

問 12 (1) $80 \times 0.5 + 70 \times 0.6 + 90 \times 0.7 = 40 + 42 + 63 = 145$

(2) $(145 \div 240) \times 100 = 0.6041... \times 100 = 60.41...$ よって 60.4%

問 13 (1) 非核保有国が 7 か国だから、7/12

(2) 非核保有国を①②③④⑤⑥⑦、核保有国を⑧⑨⑩⑪⑫とする。

選んだ 2 か国を(①②)のように表す。

(①②)(①③)(①④)(①⑤)(①⑥)(①⑦)(①⑧)(①⑨)(①⑩)(①⑪)(①⑫)

の 11 通り

(②③)(②④)(②⑤)(②⑥)(②⑦)(②⑧)(②⑨)(②⑩)(②⑪)(②⑫) の 10 通り

(③④)(③⑤)...(③⑫) の 9 通り

(④⑤)...(④⑫) の 8 通り

(⑤⑥)...(⑤⑫) の 7 通り

(⑥⑦)...(⑥⑫) の 6 通り

(⑦⑧)...(⑦⑫) の 5 通り

(⑧⑨)...(⑧⑫) の 4 通り

(⑨⑩)...(⑨⑫) の 3 通り

(⑩⑪)(⑩⑫) の 2 通り

(11 12) の 1 通り

以上から、すべての場合が $11+10+9+\dots+3+2+1=66$ 通りあり、

2 か国とも非核保有国であるのは、白丸の数字の組で $6+5+4+3+2+1=21$ 通り

よって $21/66=7/22$